

西臼杵消防だより



令和2年3月

特集

救急業務～119番通報から病院搬送まで

今回は、急病やけがで救急車を要請した際、どうすれば良いのかをお伝えし、病院搬送までの救急隊の活動などを紹介します。



通信指令員が次のことをうかがいます

① 救急車が向かう場所

「高千穂町三田井〇〇番地
消防太郎です。〇〇の近くです。
住所・世帯主名・電話番号・目標物など

② どのような状態か

「父が急に胸を痛がっています。」
名前・性別・年齢。どのような状態か、意識の有無などを質問します。

③ 病歴・かかりつけの病院

④ 通報者のお名前 など



... 次ページへ ...



119番のかけ方



はい、119番
西臼杵消防です。
火事ですか？
救急ですか？



「救急です」
と答えてください。

救急車を呼ぶか迷ったときは？

症状の緊急度を素早く判定！！ 救急車を呼ぶ目安に！！

総務省消防庁「Q助」案内サイト

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html



全国版救急受診アプリ



適切な処置と病院選定

救急隊は、まず傷病者の状態をよく観察し、それに応じて必要な処置（酸素投与、人工呼吸、AEDを用いた除細動・電気ショック）、輸液及び薬剤投与、外傷の処置、体位管理など）を行います。そして重要なのが「適切な病院を選定」して速やかに搬送することです。

観察の結果、重篤な脳疾患や心臓疾患が疑われる場合、近くの病院ではなく、根本的な治療が可能な医療機関（県立延岡病院など）へ搬送します。また、病院選定の際、ドクター・ヘリの活用も視野に入れ、空と陸両方の経路を検討し、傷病者にとって最善の方法を選択します。

救急救命士が行う処置

救急救命士は、特定行為（注）と呼ばれる救急救命処置を行うことができます。

特定行為には、心肺停止傷病者に対する静脈路確保のための輸液、気管内チューブによる気道確保や薬剤（アドレナリン）投与などがあります。

（注）特定行為には、一定の講習や実習の修了を義務づけられているものがあります。



▲ 輸液等を行うためのルート確保



▲ チューブによる気管内挿管

医師を現場へ 宮崎ドクター・ヘリ



【消防署からのお願い】

救急隊は常に迅速な搬送を心がけていますが、傷病者の観察・処置、病院選定に時間がかかり、現場滞在時間が長くなることがあります。また、病態によっては車両の揺れを最小限にするため、救急車の速度が一般車両よりも遅くなることがあります。傷病者の救命を最優先に活動していますので、ご理解をお願いします。

救急現場

傷病者接触

救急隊は、現場や救急車内で傷病者の状態（意識・呼吸・脈拍・血圧・麻痺の有無・心電図等）を観察するとともに、必要な処置を行います。その際、具合が悪くなつたときの状況や、これまでの病歴などをうかがいますので、落ち着いて答えてください。



車内収容

傷病者を救急車内へ収容後、心電図などのモニターを使用して詳細な観察を行うとともに、必要な処置を実施。観察結果を総合的に判断して搬送先病院を選定し、受け入れ可能かどうか病院に連絡を取ります。

救急車が来るまでに

応急手当

落ち着いて、できる範囲の応急手当をしましょう。わからない場合は通信指令員が口頭で指導します。

容態が急変したら

再度 119 番通報してください。

病院へ行く準備

健康保険証やお薬（手帳）の用意。家が留守になる場合は火の元の確認もお願いします。

救急隊の案内

救急車の音が聞こえたら、可能であれば外に出て案内をお願いします。



令和元年（平成31年）中の災害等出動件数をお知らせします。



災害区分	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合 計
火 災	8	3	1	12 (-5)
救 助	14	5	4	23 (+4)
警 戒	48	11	7	66 (-11)
救 急	606	117	93	816 (+9)

※1 合計欄の（ ）内の数字は前年比の件数です。

※2 警戒には、ドクターへリ・防災ヘリ要請時の支援出動、火災かどうかの確認のための出動等が含まれます。

消防の仕事楽しいね！

五ヶ瀬中生徒が消防の職場体験



1月28、29日の2日間、五ヶ瀬中学校の2年生2名（男子1、女子1）が、職場体験で消防署を訪れました。規律訓練や、防火衣を着装してのホース延長・放水訓練、救助訓練などを通じて消防業務を体験した生徒たち。「消防の仕事はきついけど楽しいです」と笑顔でした。

火災の発生には必ず原因があります。その原因さえ取り除けば、つまり、予防を確実にしておけば火災は起こりません。まだ火災の起こりやすい季節。日頃の火災予防を心がけましょう。（口1）

指令室

昨年4月にパリのノートルダム大聖堂が、10月には首里城が火災で焼失し、世界に衝撃を与えました。文化財は人々の心のより所という側面も持つており、私たちはこれらを大切にし、後世に残していくかなければなりません。

文化財を守れ！

高千穂神社で防火訓練



1月26日の文化財防火デーに伴い、高千穂神社において文化財防火訓練を行いました。

訓練は、神楽殿裏の山林から出火したとの想定のもと、高千穂町消防団、西臼杵広域消防、高千穂神社が合同で実施。神社職員が初期消火・通報、重要文化財の持ち出し訓練、消防団と消防署が放水訓練及び負傷者救出訓練を行い、火災時の対応を確認しました。

高千穂神社は、本殿と鉄造狛犬（一対）が国の重要文化財に指定されています。

【文化財防火デー】

昭和24年1月26日、世界最古の木造建造物であった奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、文化的価値が非常に高かった壁画が焼損。これを受け、文化財の保護と国民の文化財愛護意識の高揚を図るため、昭和30年に1月26日が文化財防火デーとして定められました。